

民間活カイノベーション推進下水道事業（いわき市下水汚泥等利活用事業） 事業計画書

1 事業の位置

- ・中部浄化センター（福島県いわき市小名浜大原字芳際1）

2 事業の選定理由

いわき市では、東日本大震災からの復旧・復興に向けた考え方やプロセス、さらには、目指すべき「復興の姿」を明確にするため、平成23年度に策定した「いわき市復興ビジョン」において、再生可能エネルギーの導入を推進しているところであり、下水汚泥については、現在、市全体で10%程度が燃料等として有効利用されているが、取り組むべき施策の達成や持続可能な下水道事業経営を目指すため、より一層、燃料等として再生利用を図る必要がある。

3 事業の目標

中部浄化センターに集約した地域バイオマス（下水汚泥やし尿等）を固形燃料化物として有効活用することで、汚泥処理費用の低減や温室効果ガス排出量の削減を図る。

4 事業の内容及び年度計画

(1) 事業内容

下水汚泥利活用施設の整備

- ・嫌気性消化施設（7,800 m³ : 3,900 m³ × 2基）
- ・固形燃料化施設（54.8 t/日 : 27.4 t/日 × 2基）

PFI手法により下水道施設の整備と管理（20年間）を一括発注し、固形燃料化物の有効利用を含め効率的な下水道整備や運営を推進する。

(2)年度計画

令和2年：事業契約

令和3年度～5年度：設計・建設期間

令和6年度～25年度：運営期間

年度	R2	R3	R4	R5	R6～R25
項目	入札・契約事務	設計・建設			維持管理・運営

4 補助金の算定根拠

総事業費 約82億円

年度	R3	R4	R5	計	備考
事業費（税込み）	3,133百万円	2,627百万円	2,427百万円	計 8,187百万円	
嫌気性消化施設	705百万円	596百万円	794百万円	計 2,095百万円	民間活カインノベーション推進下水道事業 で実施
固形燃料化施設等	905百万円	764百万円	1,020百万円	計 2,689百万円	民間活カインノベーション推進下水道事業 で実施
し尿受入施設	1,523百万円	1,267百万円	613百万円	計 3,403百万円	中部浄化センター及び 南部浄化センターに整備

5 費用効果分析の結果

B/C : 1.6 (B : 総便益 253 億円、C : 総費用 162 億円)

いわき市 位置図

